***令和元年年度***

***学校の授業等で活用できる「親学習」研修***

***令和元年８月１日（木曜日）14:00～17:00***

大阪府の親学習教材「『親』をまなぶ・『親』をつたえる」を使用したワークを体験し、その活用方法等を学ぶことで、学校の授業における「親と自分の関係」「親となることの意味」についての学習や、教職員や保護者を対象とした学びの機会としての「親学習」実施を支援するため、教職員を対象に学校の授業等で活用できる「親学習」研修を実施しました。

１．日時／場所　　令和元年８月１日（木曜日）14:00～17:00／大阪府教育センター　第7研修室

２．参　加　者　　15人（学校教職員、行政担当者）

３．内　　　容

　**（１）開会・大阪府より「親学習ついて」**14:00～14:15

　　　地域教育振興課より、本研修の趣旨、「親学習」の特徴や活用方法、必要性等について説明しました。

**（２）ワークショップ「教材を活用した授業展開について」**14:15～16:40

豊中市で親学習リーダーとして活動している、伴野多鶴子さん、中原直子さんが講師となり、親学習ワークの体験と、実践の紹介をしていただきました。

まず、親学習教材「接する」をもとにした「たまごのワーク」（たまごを赤ちゃんとみたてて、赤ちゃんへの関わり方を体験・考えるワーク）の体験を行いました。

次に、親学習教材「親を知る」を使った親学習を体験しました。

|  |
| --- |
| 　　 |
| 【ワークショップ①】「たまごのワーク」を行いました。たまごを赤ちゃんにみたてて、名前を付けたり、顔をかいたりしました。そして赤ちゃんと思ってそっと抱えたり、人に預けたりして、親の思いを考えました。それぞれの場面での思いを振り返っり、各班から紹介しました。 |
| 　　 |
| 【ワークショップ②】親学習教材「親を知る」のエピソードを読み、登場人物（親と子）の気持ちを考えました。次に、自分に置き換えて、どう言うか、どう言ってほしいか等を考えました。最後に「親に求める５つの条件」を考えました。「愛情」「信じてくれる」「守ってくれる」などの意見がありました。 |

**（３）まとめ・アンケート記入など**16:40～17:00